

建築 性能記号凡例表等

項目	記号	性能
OA フロア		室の用途に応じ、積載加重、歩行感、耐久性などに留意し、適切に設置する。
	無記入	不要
カーテン /ブラインド	C	用途に応じ、カーテンを適切に設置する。(カーテンボックス、カーテンレール共)
	B	用途に応じ、ブラインドを適切に設置する。(ブラインドボックス共)
		用途に応じ、カーテンまたはブラインドを適切に設置する。
	無記入	不要
暗幕		用途に応じ、適切に設置する。(カーテンボックス、カーテンレール共)
	無記入	不要

電気設備 性能記号凡例表等

1) 照明

「建築設備設計基準」で定める各施設の照度基準以上とする。

光環境「技術的性能水準」以上とする。

2) コンセント

設置数は「建築設備設計基準」を参照するとともに、用途に適した容量、形式を確保する。

特殊機器類（協議による）

3) 発電回路

発電回路は、法的に必要な負荷に供給すること。

停電時に保安上(法的以外)供給が必要な負荷は、以下の機能を満足すること。

- ・各居室、廊下、階段、EV等、歩行する上で必要な明るさ及び最低限の移動機能を確保する。
- ・通信、弱電、制御機器及び防災・設備等の監視制御機器類が支障なく機能する。
- ・水の利用を確保する。
- ・停電復旧のための運用機能(電気室、発電機室、防災センター機能等)を確保する。
- ・施設管理上最低限必要な室の機能を確保する。
- ・防災倉庫等災害時に最低限必要な室の機能を確保する。
- ・冷蔵庫、冷凍庫類の運転機能を確保する。

4) 電話機の設置

- ・多機能電話機を設置すること(設置場所については協議による)。
- ・各電話機の内線外線の設定については、協議による。
- ・電話交換機は、電話機台数に見合ったものとし、かつ将来の増設にも十分対応できるものとする。

5) 凡例表

項目	内容	記号	性能
構内交換 構内情報	TEL アウト レット		設置数は「建築設備設計基準」を参照し適切に配置する。 数字は設置予定電話機台数
		無記入	不要
	PHS 利用 範囲		PHS 使用可能エリア
		無記入	不要
	FAX アウト レット		用途に応じ適切に設置する。
		無記入	不要
LAN アウト レット		設置数は「建築設備設計基準」を参照し、適切に配置する。	
	無記入	不要	
時刻表示			設置数は「建築設備設計基準」を参照し、適切に配置する
		無記入	不要

別紙 9 必要諸室及び性能水準

拡声		明瞭なスピーカ配置とする。 室(会議室、事務室等)用途に応じ一般放送の音量調節(「切」を含む 4 段階以上)機能を設ける。
	無記入	不要
テレビ		設置数は「建築設備設計基準」を参照し、適切に配置する。
	無記入	不要

機械設備凡例表

項目	内容	記号	性能
空気調和設備	室内温湿度	A	夏季:26 50% 冬季:22 40%
		B	夏季:28 50% 冬季:20 40%
		C	夏季:成り行き 冬季:30
		D	夏季:30 以下 冬季:30 以下
換気	方式(種)	1	第一種換気(排気、吸気とも機械を用いて行う換気方法)
		2	第二種換気(吸気のみを機械で行う方法)
		3	第三種換気(排気のみを機械で行う方法)

1.(仮称)市民ホール

A) 必要諸室及び性能水準

室名		面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用 人数	
ホワイエ	ホワイエ	720	・客席への導入空間 ・半券を切取った後の有料エリア	クロークまたはコインロッカー、ドリンクコーナー等を計画する。 ホールが使われていない時の利用方法についても工夫すること(セキュリティ面含む)。		
	主催者事務室	10	・チケットिंग(もぎり)のための準備室	公演の進捗状況が掌握でき、観客サービスの拠点となる位置に計画する。 当日券売場を兼ねる。		
	客用トイレ	280		利用頻度、滞留時間を考慮し、男女比率を計画する。 法令で規定された便器数を満足すること。		
	倉庫	10		もぎりで使用する長机、簡易間仕切などの収納場所をもぎり位置の近くに計画する。		
大ホール	客席	客席	・1200 席程度	余裕のある座席設定(W500、D1,000 mm以上)とする。		
		親子鑑賞室	・子どもが鑑賞の妨げとなる際に入室する室	ベンチシート形式である。 子どもの泣声が客席に聞こえないよう、十分な遮音性能を確保する		
	舞台	舞台			主舞台 PW18m、PH9～12m、SD15m 程度、両袖に同規模の袖舞台を設置する。 3面舞台とすることで、大型招聘公演また連日公演(ロングラン)にも支障なく対応可能とする。 脇花道を設置する。	
		舞台備品庫	・大道具など常設の舞台備品を収納保管する室	十分な出入口開口寸法を確保する。		
		ピアノ庫	・常設のピアノを収納保管する室	除湿、空調が必要である。 フルコンサートピアノ2台を収納可能とする。		
		照明・音響機材庫	・常設の照明・音響機材を収納保管する室			
		大道具搬入スペース		搬入車両(11t ウィング車)が側方・後方からの荷降ろしができる環境を確保する。 十分な遮音性能を確保する。		
	楽屋	楽屋事務室兼スタッフルーム	・楽屋ゾーンの出入り管理を行う主催者専用室 ・主催者側の技術	楽屋出入口に面して設置する。 舞台に近い位置に設置する。		

(主催者用)

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名		面積 (m ²)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
			スタッフ用控室と兼用		
	楽屋(大)	100		化粧台、洗面台、更衣ブース等を設置する。 共用シャワー室を設けない場合はシャワーブースを設置する。	30 } 40
	楽屋(中)	100		50 m ² × 2 室 化粧台、洗面台、更衣ブース等を設置する。	15 } 20 / 室
	楽屋(小)	50		25 m ² × 2 室 化粧台、洗面台、更衣ブース等を設置する。 出演者の音出しに配慮した遮音吸音性能を確保する。 ユニットバス(3点セット)を設置する。	5 } 10 / 室
	アーティストラウンジ	50	・楽屋通路に面した出演者のくつろぎの場	楽屋環境を単なる裏方とせず、アーティストのための快適環境とするための必要空間として整備する。 ミニキッチン等を設置する。	
	楽屋トイレ 共用シャワー室 湯沸し室	50		楽屋(大)、(中)の利用者に応じた便器数、シャワー数を設置する。	
	楽屋倉庫	50	・長机、移動式化粧台の収納保管		
技術諸室	調光操作室	30	・照明操作卓の設置	客席後方に設置し、「明かり」を操るための技術者環境を整備する。 舞台全体が見渡せること。	
	映写室	10	・映写機(ビデオプロジェクター)の設置		
	音響調整室	30	・音声調整卓、周辺機器の設置	客席後方に設置し、「音」を操るための技術者環境を整備する。 客席の生音が聞けるよう配慮すること。	
	フロントサイドスポット	40		客席前方の上手・下手に設置する。	
	シーリングスポット	40		客席上部天井面に設置する。	
	フォロースポット	20		客席上部後方に設置する。 常時オペレーターが居て、4台対応を想定すること。	
	スタッフルーム (常駐技術員用)	30	・常駐技術員の休憩、軽作業のための室	施設に常駐する舞台技術者のための控室であり、機材なども持込むことを考慮する。 舞台に近い位置に計画する。	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名		面積 (m ²)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
	舞台照明調光盤室	30	・主幹盤、分岐盤、 調光基盤などの 設置	舞台、客席への騒音、振動に留意する。	
	舞台音響 電力増幅器室	10	・直接操作を伴わ ない電力増幅器 などの設置		
	倉庫	40			
小ホール 練習室	小ホール	320	・小規模な音楽、 演劇等の公演 ・大規模な音楽、 演劇等の練習、リ ハーサル	主舞台と同じ大きさを確保した平土間空間とする。 小規模の公演ができるよう、可動席(100席程度)と 移動席を含めて200席程度の座席を確保する。 床または壁面収納タイプ等の舞台を設置する。 舞踊等の練習やリハーサルができるように、壁面に 鏡とバーを設置する。 出演者や観客の出入り、可動席の利用を考慮し、 出入口を複数設置する。	
	楽屋	50		25 m ² × 2室 化粧台、洗面台、更衣ブース等を設置する。 出演者の音出しに配慮した遮音吸音性能を確保す る。 ユニットバス(3点セット)を設置する。	5 } / 10 室
	練習室(中)	50	・中規模な音楽・演 劇のなどの練習		
	練習室(小)	20	・小規模な音楽・演 劇のなどの練習		
	調整室	20	・録音など	小ホールで公演を行う場合の音響、照明の調整及 び映写用(プロジェクター)用スペースを確保する。	
	練習室用機材庫	20			
	練習室用ロビー	50			
	楽器庫	20			
管理事務室		120		打合せスペース、更衣室を含む。 ホールの貸出、管理を行う。	
(必要諸室)計		4,440			

B)設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備									
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (有)	(有 提案による)	その他
				TELEアウトレット	FAXアウトレット								方式種	回数(回/h)					
ホワイエ	ホワイエ										A		1	-					
	主催者事務室										A		1	-					
	客用トイレ												3	15			手洗い		
	倉庫												3	5					
客席	客席										A		1	-					
	親子鑑賞室										A		1	-					
舞台	舞台										A		1	-					
	舞台備品庫												3	5					
	ピアノ庫										A		1	3					恒湿
	照明・音響機材庫												1	5					
	大道具搬入スペース												1	5					
楽屋	楽屋事務室兼スタッフルーム(主催者用)										A		1	-					
	楽屋(大)										A		1	-			洗面		
	楽屋(中)										A		1	-			洗面		

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備									
	OAVロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LAN/AUTOTEL	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温湿度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無	(有 提案による)	その他
				TEL/AUTOTEL	FAX/AUTOTEL								方式種)	回数(回/h)					
楽屋(小)										A		1	-					ユツトバス	
アーティスト ラウンジ										A		1	-					ミキッピン	
楽屋トル 共用シャワ -室 湯沸し室												3	5 15					手洗いシャワー 雑湯	
楽屋倉庫												3	5						
技術諸室	調光操作 室									A		1	-						
	映写室									A		1	-						
	音響調整 室									A		1	-						
	フロントサイド スポット																		
	シーリング スポット																		
	フォー スポット																		
	スタッフルーム (常駐技術 員用)										A		1	-					
	舞台照明 調光盤室										D		1	5					
舞台音響 電力増幅 器室										D		1	5						

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備								
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温湿度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (有)	(有 提案による)
				TELEアウトレット	FAXアウトレット							方式種	回数(回/h)					
倉庫												3	5					
小ホール										A		1	-					
楽屋										A		1	-			ユツトバズ		
練習室 (中)										A		1	-					
練習室 (小)										A		1	-					
調整室										A		1	-					
練習室用 機材庫												3	5					
練習室用 ロビー										A		1	-					
楽器庫												3	5					
管理事務室		B								A		1	-			流し		

2.(仮称)市民図書館・情報プラザ

< 共通 >

性能水準
<p>蔵書冊数約60万冊、うち30万冊を開架可能な書架配置とする。</p> <p>一般書フロア及び児童書フロアは、できるだけ同じ階に計画する。</p> <p>カウンターは各階に1つは設置し、一般、児童、障がい者など誰にも利用しやすい仕様とする。</p> <p>カウンターと事務室は、必ずしも隣接の必要はない。</p> <p>防犯カメラ・非常ベル(鈴)を設置する(夜間・一人カウンター時対策)。</p> <p>入館者カウントを設置する。</p> <p>図書館出入口には、BDSゲートを設置する。</p> <p>自動返却仕分け装置を設置する。</p> <p>自動出納書庫(30万冊程度)を設置する。</p> <p>自動貸出機を設置する。</p> <p>IC対応のカウンター後方書架を設置する。</p> <p>書架部分の照明は、照度の基準をクリアするだけでなく、配架された図書の書名が下段まではっきり見えるように計画する。</p> <p>時計は各室設置を基本とし、見やすいように配置する。</p> <p>床は埃が立たない、音が響かない素材を使用する。</p> <p>児童書コーナー、お話の部屋等、主に幼児・児童が使用する室は、特に健康に配慮した素材を選択するとともに、安全面にも十分な配慮をする。</p> <p>作業動線上にある開閉戸は、ハンガードアとする。</p> <p>書架等什器備品は、耐久性、使いやすさ等実用性ととも、建物・内装のコンセプトに則した、デザイン性を考慮したものとする。</p>

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
受付窓口等	共用	・総合案内	貸出、返却業務用のカウンターとは別に、図書館・情報プラザ総合案内カウンターを館出入口付近に設置する。	
		・カウンター (貸出・返却業務などを行う)	カウンターは、各階の主動線上にあり、利用者にわかりやすく、また職員の動線を考慮したものとする。 返却・予約図書が一時保管できるスペースをカウンターから見えない位置に設置する。	
			日本十進分類法サインを各階に設置する。 図書館ゾーニング案内図を各階に設置する。	
一般書フロア	2,000	・本の展示収架 (約23万冊)	一般書コーナー、外国語コーナー、ヤングアダルトコーナー、ビジネス支援、医療支援、特設コーナー、閲覧用ソファ等のスペースを確保する。	
児童書フロア	430	・本の展示収架 (約5万冊)	閲覧席等のスペースを確保する。 子どもの騒ぐ声、話し声が他のフロアに響かないようにする。	
お話の部屋	30	・絵本、紙芝居 の読み聞かせ 等	防音仕様とする。 照明器具は、調光可能とする。 音響装置を設置する。	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
郷土・行政フロア	130	・本の展示収架 (約1万冊)	郷土資料コーナー、行政資料コーナー、パソコン検索コーナー、資料展示等のスペースを確保し、必要な機器設備を設置する。 閲覧席を設置するスペースを確保する。(本を持って閲覧のためのスペースまで移動しなくて良いように)	
専門図書フロア	350	・本の展示収架 (約1万冊)	参考図書コーナーを確保する。(産業活性化のためやサテライトキャンパスのための特化した資料) パソコン検索等スペースの確保と必要な機器設備を設置する。 閲覧席(30席)スペースを確保する。	
新聞・雑誌・逐次刊行物 フロア	50	・新聞・雑誌・逐次刊行物の展示収架	閲覧のためのスペースから近い場所に配置する。 雑誌約250～300冊(全国標準)の展示スペースを確保する。 閲覧席、閲覧用ソファー等が設置できるように計画する。	
閲覧のためのスペース	1,000	・図書・雑誌等の閲覧 ・学習	全体的な閲覧スペースとして計画する。 一般閲覧席(300席)を確保する。 学習席コーナー(100席)を確保する。	
情報プラザ・映像フロア	50	・DVD、配信映像の鑑賞	個人ブース(10ブース)を設置する。 個人ブース(10ブース)に必要な機器設備を設置する。 音響装置を設置する。	10
情報プラザ・パソコン(インターネット)フロア	70	・情報収集、調べ学習等 ・インターネット体験コーナー ・各種産業情報や行政情報、まちづくり情報の提供及び閲覧	20席使用可能とする。	
資料デジタル化・地域資料アーカイブ編集室・録音室	60	・資料のデジタル化のための部屋		
自動出納書庫	300	・図書の保存 (30万冊)	IC対応の完全無人化の書庫とする。 書庫までは図書館からなるべく近い場所が望ましい。 図書館内フロアの必要性はない。	
新聞・雑誌収納フロア(固定式)		・新聞・雑誌の保存	新聞・雑誌が保存できるスペース、自動閉架書庫収容も可である。	
検収検品等作業室	45	・入荷図書・雑誌等資料の受け入れ作業	作業台を設置する。 洗面台(手洗い)を設置する。 図書運搬エレベーターに近い場所に配置するとともに、動線にも配慮すること。	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
電算室	20	・電算機器の設置		
図書館ボランティア研修室	45	・職員の研修も含む	放送設備を設置する。	
図書館長室 (応接室)	20			
事務室	160	・後方事務	給湯設備を設置する。	
更衣室	20	・職員の更衣		
トイレ			利用者の利便性を考慮したトイレを館内に設けることが望ましい。 館外に設ける場合は、プランニングに応じて利便性また図書の管理を考慮し、適切に配置する。	
(必要諸室)計	4,780			

B)設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備									
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LAN/AUTOTEL	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無	(有 提案による)	その他
				TE/AUTOTEL	FAX/AUTOTEL								方式種	回数(回/h)					
受付窓口等	B									A		1	-						
一般書フロア	B			5						A		1	-						
児童書フロア	B									A		1	-						
お話の部屋	B								調光設備	A		1	-						
郷土・行政フロア	B									A		1	-						
専門図書フロア	B									A		1	-						
新聞・雑誌・逐次刊行物フロア	B									A		1	-						
閲覧のためのスペース	B									A		1	-						
情報プラザ・パソコン(インターネット)フロア	B									A		1	-						
映像フロア	B									A		1	-						
資料デジタル化・地域資料アーカイブ編集室・録音室	B									A		1	-						
自動出納書庫	B											1	5						
新聞・雑誌収納フロア(固定式)	B									A		1	-						

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備											
	OAFロ	カーテンブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温湿度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)		ガス設備有無 (提案による)		その他	
				TELEアウトレット	FAXアウトレット								方式種)	回数(回/h)							
検収検品等作業室		B									A		1	-		手洗い					
電算室		B									A		1	-							空調個別調節
図書館ボランティア研修室		B									A		1	-							
図書館長室 (応接室)		B									A		1	-							
事務室		B									A		1	-			流し				
更衣室		B											1	-							

3. サテライトキャンパス

< 共通 >

性能水準
(仮称)市民図書館・情報プラザ、(仮称)産業活性化を図るための知的拠点との相互利用に配慮する。

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	設置 階の 指定	使用 人数
サテライトキャンパス事務室	60	・大学関係者の執務室	個別徴収に対応した電気メーター設置する。(電気使用料徴収用)	同一階	4
講義室	300	・セミナーや講義講座等のために、市と大学とで有効活用	100㎡×3部屋、その内2室は防音効果のある可動間仕切りで仕切る。 プロジェクターの使用を考慮して、天井高さを適確に確保する。 音響設備を設置する。 電動スクリーン等映像設備を設置する。 個別徴収に対応した電気メーター設置する。(電気使用料徴収用)		
(必要諸室)計	360				

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備					
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換 TELE FAX LAN	LAN 時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内 時間 換気	給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (提案による)	その他		
サテライトキャンパス事務室	B							・電力を個別計量	A	1	-				・電力を個別計量
講義室	B							・電力を個別計量	A	1	-				・電力を個別計量

4. (仮称)まちづくり情報センター

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用人数
受付カウンター	40	・地図販売及び証明書の発行等	受付カウンターについては、ユニバーサルデザインに配慮する。 GISを使えるパソコン1台+ディスプレイ1台、プリンター1台の設置スペースを確保する。	
閲覧コーナー		・都市計画情報の閲覧及び縦覧など	都市計画情報提供(インターネット含む)用パソコン2台程度が設置できるスペースを確保する。 ペーパーによる都市計画情報提供のためのスペースを確保し、資料を広げられる机・椅子のスペースを確保する。 資料保管スペースを確保する。	
事務スペース		・まちづくり情報発信に伴う事務	2名程度の執務に対応するスペースを確保する。	2
ミーティングスペース		・まちづくりや建築に関する相談	数人(5~6人程度)の会議に対応できるテーブル・椅子スペースを確保する。 他のスペースと簡易パーティションにて区画できるよう計画する。	5~6
(必要諸室)計	40			

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備									
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温湿度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (有)	(有 提案による)	その他
				TELEアウトレット	FAXアウトレット								方式種	回数(回/h)					
受付カウンター											A		1	-					
閲覧コーナー											A		1	-					
事務スペース											A		1	-					
ミーティングコーナー											A		1	-					

5.(仮称)産業活性化を図るための知的拠点

< 共通 >

性能水準
<p>職員数 11人程度 (官 3名・民 2名・学6名)</p> <p>(仮称)市民図書館・情報プラザ、サテライトキャンパスとの相互利用にも配慮する。</p> <p>全室が1フロアにあるのが理想だが、複数階に分かれる場合は、事務室、大学連携事務室、展示スペース、相談室で1グループ、セミナールーム、交流ルームで1グループ、SOHO・インキュベーション用ルーム、商談室で1グループとする。</p> <p>全室がワンフロアに収まる場合は、利用者・来訪者等が事務室の受付の前を必ず通過するような部屋の配置にする。</p> <p>来訪者等に全部屋の案内板(位置図)を事務室の受付の前に設置すること。部屋が複数階にまたがる場合は、各階に全室案内板(位置図)を設置する。</p> <p>トイレ、給湯室、飲み物の自販機は、SOHO・インキュベーション用ルームのゾーン内に設置する。</p> <p>SOHO・インキュベーション用ルームは、他のゾーンと隔離し、高ランクで、かつ24時間・365日、人の出入りができることを想定したセキュリティシステムとする。</p> <p>全部屋にピクチャーレールを設置する。</p>

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (m ²)	室の使い方等	性能水準	設置階の指定	使用人数
事務室(支援ルーム)	30	・施設利用の受付 ・支援組織執務室	事務室と大学連携事務室間は間仕切りをしない。	同一階	
大学連携事務室	120	・大学関係者の執務等	事務室と大学連携事務室間は間仕切りをしない。 ミーティングのためのスペースを確保する。 男女更衣室を設置する(10 m ² × 2室)。 個別徴収に対応した電気メーター設置する。(電気使用料徴収用)		
展示スペース	25	・新商品・新技術の紹介(トライアル製品)			
相談室	14	・中小企業の技術相談 ・創業支援相談	各部屋での会話が外部に漏れないような構造とする。		
セミナールーム L	120	・セミナーや講義講座等のために、市と大学とで有効活用	プロジェクターの使用を考慮して、天井高さを適確に確保する。 音響設備を設置する。 電動スクリーン等映像設備を設置する。 セミナールーム Lとセミナールーム Sは、隣接させ、それぞれ防音効果のある可動式間仕切りで仕切る。	同一階	
セミナールーム S	60				

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (m ²)	室の使い方等	性能水準	設置 階の 指定	使用 人数
倉庫	14	・セミナー・ムの机、椅子、研修機材等を収納			
交流ルーム	90	・産学交流サロンやインキュベーション利用者の交流	SOHO・インキュベーション用室と隣接が望ましい。		
SOHO・インキュベーション用室A	210	・創業支援 (24 時利用)	30 m ² × 7室 室外に会話等が漏れないよう防音仕様とする。 室名板には部屋番号を入れる。 個別徴収に対応した電気メーターを室の外に設置する。 (電気料徴収用)	同一階	
SOHO・インキュベーション用室B	30		15 m ² × 2室 室外に会話等が漏れないよう防音仕様とする 室名板には部屋番号を入れること。 個別徴収に対応した電気メーターを室の外に設置する。 (電気料徴収用)		
SOHO・インキュベーション用室C	32		ハイ・パーティション(H=1,500 mm程度)により8 m ² × 4 区画に区画できるよう計画する。 室外に会話等が漏れないよう防音仕様とする。 室名板には部屋番号を入れること。 4 区画それぞれに電源の配置及び電話回線、インターネット回線接続が出来るようにする。 個別徴収に対応した電気メーターを室の外に設置する。 (電気料徴収用)。室全体に対応したもので良く、4区画に分ける必要はない。		
商談室	14	・主に入居者の商談用	SOHO・インキュベーション用室に近接させる。 各部屋での会話外部に漏れないような構造とする。		
(必要諸室)計	759				

B)設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備								
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (提案による)	その他
				TELEアウトレット	FAXアウトレット								方式種	回数(回/h)				
事務室(支援ルーム)		B		2							A		1	-				
大学連携事務室		B		8					電力を個別計量		A		1	-				電力を個別計量
展示スペース									左記照度条件以外に作品展示時における可動式照明を設ける		A		1	-				
相談室		B									A		1	-				
セミナールーム L		B							無線 LAN		A		1	-				
セミナールーム S		B							無線 LAN		A		1	-				
倉庫		B											3	5				
交流ルーム		B									A		1	-				
SOHO・インキュベーション用室 A		B		28					電力を個別計量 電話機 4 台×7 室		A		1	-				・電力を個別計量 ・空調個別調節
SOHO・インキュベーション用室 B		B		4					電力を個別計量 電話機 2 台×2 室		A		1	-				・電力を個別計量 ・空調個別調節
SOHO・インキュベーション用室 C		B		4					電力を個別計量 電話機 1 台×4 区画		A		1	-				・電力を個別計量
商談室		B									A		1	-				

6. (仮称)総合社会福祉保健センター

<各施設共通>

性能水準	
<p>障がい者交流センターの体育施設は、高齢者交流センター、児童センターと共用するものとし、必ずしも障がい者交流センターの他の室と同一階に配置する必要はない。</p> <p>障がい者交流センターの体育施設と健康増進センターの健康増進室は同一階に配置する。</p> <p>健康増進センターのシャワー室・更衣室は、健康増進室の他、障がい者福祉センター内の体育施設と共用することを考慮し、双方にとって使いやすい配置とする。</p> <p>児童センターのにこにこルームは、保育所との連携にも配慮する。</p> <p>母子福祉センターは、児童センターとの同一階は避ける。</p> <p>共有施設の保健室は、健康増進センターの健康増進室、障がい者福祉センターの体育施設、機能訓練用プールから利便性の良い位置に配置する。</p> <p>共有施設の会議室は、できる限り社会福祉協議会事務室と同一階に配置する。</p> <p>共有施設の相談室は、各施設に近接して配置するが、すべて共有とし相互利用を図るものとする。配置は以下のとおりとする。</p>	
「社会福祉協議会事務室」	3室
「障がい者福祉センター事務室」	2室
「児童センター事務室」	2室
「高齢者交流センター事務室」	1室
「母子福祉センター」	1室
「健康増進センター」	1室

6 (仮称)高齢者交流センター

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (m ²)	室の使い方等	性能水準	設置階 の指定	使用 人数
事務室	20	・執務			2
談話室	100	・囲碁、将棋などの レクリエーション、高 齢者の交流の場	事務室に隣接させる。 60畳程度の和室とする。(畳は柔らかいものを使用する) 机、座布団の収納庫を確保する。(3人掛け座卓20台、 座布団60枚) 入口を広く取り、段差を解消すること。また、下足箱や靴 を脱ぐ際に座れるベンチなどの配慮をすること。 手摺を適宜設置する。 できるだけ自然光を取り入れ、明るいスペースとする。 雰囲気や和らぐ素材、色調とする。		
(必要諸室)計	120				

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備									
	OAフロア	カーテン ブラインド	暗幕	構内交換 TELEアウトレット	FAXアウトレット	LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内 温湿度	時間 外空調	換気 方式種	回数 (回/h)	給排水 設備 (有)	給湯 設備 有無 (有)	ガス 設備 有無	(有 提案 による)	その他
事務室		B									A		1	-					
談話室		C									A		1	-					

6- (仮称)障がい者福祉センター

< 共通 >

性能水準
<p>事務室と障害者生活支援センター、障がい者交流室、機能回復訓練室、機能訓練用プールは、同一階とする。</p> <p>機能訓練用プールは、更衣室、便所、収納庫、シャワー室とともに一体として計画する。</p> <p>点字図書室、点字作業室、録音室、スタッフルームは、点字図書館として一体として計画する。</p> <p>介護用品展示室、福祉用具適合・体験室、手作り体験教室は、福祉用具展示体験室として一体として計画する。</p> <p>体育施設は、障がい者福祉センターの他室と同一階でなくても良い。</p>

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	設置階 の指定	使用 人数
事務室・相談室	40	<ul style="list-style-type: none"> ・プール、交流室 ・受付業務 ・機能回復訓練室 ・管理業務 ・相談業務 ・スタッフ控室 	<p>プールのスタッフ5名、相談員のスタッフ2名の事務スペースを確保する。</p> <p>相談室×1室を設ける。</p> <p>相談室は独立した室とし、相談者のプライバシーに配慮した造りとする。</p>	同一階	7
障害者生活支援センター	60	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の申請代行、サービスの利用 援助、支援、相談 	<p>カウンターは着席して、受付及び相談業務ができる仕様とする。</p> <p>受付の内側に事務スペースを配置する。</p>		8
障がい者交流室	80	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換やこころのふれあいとなる交流の場 ・就労支援のための作業場 ・作品展示 ・作品販売 	<p>障がい者交流室は、基本的に間仕切壁を設けずに、オープンスペースとする。</p> <p>移動式のパーティションや折りたたみ式の会議テーブル等で時々に合わせて、障がい者の作品展示や販売のコーナー、作業場や催し物の会場などを設営できるよう計画する。</p> <p>催し物や作業を行う際に使用する机と椅子を収納するスペースを確保する。</p>		
機能回復訓練室	100	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の機能回復・維持訓練をはかる ・利用したいときに自由に利用できるようにして、スタッフは常駐しない 	<p>起立台、ランニングマシン、滑車、肩車輪機、助木、下肢訓練機、歩行器、階段、足つぼマッサージを置く。</p> <p>緊急呼び出しボタンを設ける。</p>		
機能訓練用プール	219	<ul style="list-style-type: none"> ・機能回復訓練等 	<p>車椅子用プール(1コース、水深0.8m)と歩行訓練用プール(約13m×2コース、水深1.2m)を作り、コースとコースの間はコースロープで仕切るのではなく、遮断物を設置する。</p> <p>車椅子のままプールに入水できる昇降機、または、スロー</p>		

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	設置階 の指定	使用 人数
			<p>ブを設置する。</p> <p>歩行訓練用プールには出入水用の階段と手摺りを設置する。</p> <p>障がい者と車椅子使用者が安全に行き来できるようプールサイドを広く取る。</p> <p>手摺を設置するなど安全確保に十分配慮する。</p> <p>床は、濡れても滑りにくい材質とする。</p> <p>プールは温水とし、水温管理、冷暖房管理に配慮する。</p>		
シャワー室(1)	10	・プール入水用シャワー	<p>手摺と非常用呼び出しボタンを設ける。</p> <p>床は、濡れても滑りにくい材質とする。</p>		
シャワー室(2)	20	・着衣用シャワー	<p>着衣用シャワー室は、個室を幾つか設け、そのうち一つは、車椅子で回転可能な広さとする。</p> <p>個室には、手摺と非常用呼び出しボタンを設ける。</p> <p>車椅子用の個室には、手摺りに加えて、車椅子と同じ高さの腰掛台と車椅子用防水カーテンを設置する。</p> <p>床は、濡れても滑りにくい材質とする。</p>		
更衣室(男女)	56		<p>男子更衣室 28 ㎡ (22 ㎡ + 家族更衣室 6 ㎡)</p> <p>女子更衣室 28 ㎡ (22 ㎡ + 家族更衣室 6 ㎡)</p> <p>更衣室は、すべて個室とする。</p> <p>更衣室と家族更衣室は、別室とする。</p> <p>手摺、腰掛台(車椅子と同じ高さ)を設置する。</p> <p>洗面台と鏡を壁一面に設ける。</p> <p>床は、濡れても滑りにくい材質とする。</p> <p>緊急呼び出しボタンを設ける。</p>		
トイレ(男女)	30		<p>多目的トイレと普通のトイレを設置する。</p> <p>多目的トイレの便器は、すべて洋式とし、自動で蓋が開閉するものとする。</p> <p>全てのトイレに緊急呼び出しボタンを設置し、適宜手摺を設ける。</p>		
プール用収納庫	18	・清掃用具、機能回復訓練用具収納	<p>清掃用具、機能回復訓練用具を収納する。</p>		
点字図書館	スタッフルーム	15	・受付 ・点字図書貸出		4～5
	点字図書室	135	・点字図書や録音テープの貸出		
	点字作業室	25	・点訳等		2～3
	録音室	25	・音訳等	<p>録音室としての機能が十分満足されるよう、遮音吸音に留意する。</p> <p>テープや CD への録音のための音響機器を設置する。</p>	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名		面積 (m ²)	室の使い方等	性能水準	設置階 の指定	使用 人数
	対面朗読室	10	・ボランティアが視覚障がい者のために朗読する	机1台と椅子数脚が置けるスペースを確保する。		
福祉用具展示体験室	介護用品展示室	135	・福祉用具の展示を行う	着席して、相談業務のできるカウンターを設置する。 カウンターの内部に6～7名で事務を執ることができるスペースを確保する。 福祉用具の展示や障がい者の製作した用具の展示スペースを確保する。 住宅改造のモデルルームを兼ねたスペースとする。		
	福祉用具適合・体験室	72		車椅子訓練用坂道（車椅子に乗って、訓練できるよう軽い傾斜のある上り坂と下り坂）を設置する。 車椅子訓練用砂利道を設置する。 視覚障がい者の方が歩行訓練するための横断歩道と点字ブロックを設置する。 その他信号、歩道などを設置する。		
	手作り体験教室	65	・織物や陶芸等の製作を体験するスペース	ボランティアのために、オープンスペースで良いのでテーブル、椅子などが設置できる待機スペースを確保する。		
体育施設		900	・高齢者や障がい者のレクリエーションや体力機能維持向上 ・児童の自由な遊び場の提供 ・災害時における避難所 (災害時における付加機能については業務要求水準書第2-8.参照のこと)	職員2名用のスタッフルームを設ける。スタッフルームは、体育施設内が良く見えるようにする。 体育倉庫(100 m ² 程度)を設置する。 車椅子バスケットボールができるスペース(縦 28m + 3m × 2(エンドゾーン)、横 15m + 3m × 2(サイドライン外側)を確保。ゴールは固定式とする。 バレーボール、バドミントンができる設備を設ける。 ネットなどで分割使用することも考慮すること。体育施設内を同時に異なる競技が利用できるように、ネットなどで仕切ることができるような構造とする。 運動による騒音や振動が、他の室の性能を妨げないように計画する。 床は、体育館用鋼製下地の上体育館用木製フローリング張りとし、耐久性やメンテナンス性に優れた仕上げとする。 天井照明は、電動昇降装置付のものとする。またボールが当たっても割れないような安全策を講じること。 音響設備を設置する。 ステージは設けないこととする。		
(必要諸室)計		2,015				

B) 設備等の性能水準

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	建築			電気設備							機械設備								
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LAN/AUT	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温湿度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無	(有 提案JIS)	その他
				TE/AUT	FA/AUT								方式種)	回数(回/h)					
事務室・相談室		○		3							A		1	-					
障害者生活支援センター		○		4							A		1	-					
障がい者交流室		○		1					左記照度条件以外に作品展示時における可動式照明を設ける		A		1	-					
機能回復訓練室		○		1							A		1	-					
機能訓練用プール	プール										C		1	-					
	シャワー室(1)										A		1	5		シャワー			
	シャワー室(2)										A		1	5		シャワー			
	更衣室(男女)										A		1 2	5		洗面			
	トイレ(男女)												3	15					
	プール用収納庫												3	5					
点字図書館	スタッフルーム		○	2							A		1	-					
	点字図書室		○								A		1	-					
	点字作業室	○	○								A		1	-					
	録音室		○								A		1	-					
	対面朗読室		○								A		1	-					

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	建築			電気設備							機械設備								
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LAN/AUT	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (提案) (有)	その他	
				TE/AUT	FA/AUT							方式種	回数 (h)						
福祉用具展示体験室	介護用品展示室	○	○							左記照度条件以外に作品展示時における可動式照明を設ける	A		1	-					
	福祉用具適合体験室		○								A		1	-					
	手作り体験教室		○								A		1	-					
体育施設			○							・災害時情報ボックスを設置する ・テレビ端子は災害時情報ボックス内 ・体育施設の電気関係は非常用電源対応とする	A		1	5					・空調個別調整

6- (仮称)児童センター

< 共通 >

性能水準
<p>こどもルーム(事務室、ルーム、自由広場、図書室、ランチ室、トイレ、授乳室、おむつ交換室)は、一体として計画し、各所に緊急ブザーを配置する。</p> <p>子育て支援サロンは、こどもルームと隣接させる。</p> <p>一時預かり室は、こどもルームと近接させる。</p> <p>子どもが楽しめる雰囲気施設の施設とする。</p> <p>子どもの視線で設計する。(4~5歳児を基準)</p> <p>子ども(乳幼児を含む)に安全な施設とするため、特にユニバーサルデザイン(バリアフリーを含む)に配慮する。</p> <p>各施設及び駐車場とこどもルームへの通路は、ベビーカー、車椅子が利用可能とする。</p> <p>内部は、木材を使用した仕上げを基本とし、床は弾力性のあるフローリング仕上げとする。</p> <p>扉は、子どもの利用に配慮したものとする。</p> <p>出入口扉は、スライドドアとする。</p> <p>窓の高さは、安全性を考慮する。</p> <p>突起物や鋭角な部分を作らない配慮をする。</p> <p>清潔な環境の確保に配慮するとともに、清掃や各種メンテナンスが行いやすい施設とする。</p> <p>照明は目に柔らかいものとする。</p> <p>職員 15 人程度</p>

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
玄関・廊下	共用		<p>壁面は、掲示が可能な素材とする。</p> <p>靴箱を設置する。</p> <p>ベビーカースペースを設置する。</p>	
こども ルーム	事務室	・事務管理	<p>利用者の出入り及び利用状況が確認できるように配置する受付窓口を設置する。</p> <p>事務スペースの他来客に対応するスペースを確保する。</p> <p>こどもルーム、子育て支援サロンを含めた記録を保管するスペースを確保する。</p>	6
	ルーム ~	・遊戯室(主に幼児とその保護者が利用する部屋)	<p>150㎡×4室</p> <p>乳児が安全に遊べるようにプレイサークルで乳児コーナーを確保する。</p> <p>幼児用遊具設置スペースを確保する。(幼児用すべり台、ジャンクルームなどを設置予定)</p> <p>幼児用机及び椅子設置スペースを確保する。</p> <p>保護者用ベンチ設置スペースを確保する。</p> <p>遊具等の整理棚設置スペースを確保する。</p> <p>壁面は、掲示可能な素材を使用する。</p>	
	自由広場	・催事に使用	<p>広場 108㎡ + ステージ 30㎡ + 楽屋(右)6㎡ + 楽屋(左)6㎡</p> <p>催しものがないときは自由空間(遊戯室)として使用する。</p>	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名		面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
	図書室	100	・乳幼児から小学校低学年児童が対象	乳幼児のための安全な机、椅子を設置したコーナーを確保する。 乳幼児が寝転んでも本を読めるように適度な弾力性があり、かつ衛生面にも配慮した床仕上げとする。	
	ランチ室	50	・弁当の持込を主体とした食事室とする	保護者と乳幼児、若しくは児童がランチをとれるテーブル席を計画する。 ジュース等の自動販売機コーナーを計画する。	
	トイレ(男女)	50	・トイレ ・手洗い(幼児のトイレトレーニング用)	男性用、女性用の2室を確保する。 男性用及び女性用には親子トイレ及び幼児トイレを設置する。 おむつ交換台(開閉式)を設置する。 手洗い等も子どもが利用できるもの(高さ)を併設する。	
	授乳室	25	・授乳 ・休憩	ベッド、長椅子等を設置し、カーテンにより仕切る。 ケガ及び病人の手当及び安静にするスペースを確保する。 施錠ができるようにする。	
	おむつ交換室	25	・おむつ交換	給湯設備を設置する。 各室に手洗い場を設置する。	
子育て支援サロン	100	・保育士や保健師が子育ての悩み等の相談に応じるスペース	面接のための机及び椅子席のコーナーを確保する。 畳を敷設し、座卓を囲んで面接が行えるようなスペースを確保する。 小さな書棚と遊び道具を入れるための家具を配置する。		
一時預かり室	50	・館内での保護者の行動を援助するための子どもの預かり所(有料)	畳コーナーを設置する。 授乳室、おむつ交換室を設置する。 手洗い場を設置する。 児童用トイレ(男児1・女児1)を設置する。		
ファミリーサポートセンター事務室	40	・執務スペース ・介護や育児に関する依頼者と援助者との引き合わせ	職員の執務スペース及びロッカー設置スペースを確保する。 乳幼児を連れた保護者と援助者及び職員が気軽に話せるスペースを確保する。 高齢者支援のための面接用として、プライバシーの保護に配慮して、パーティションで区切ったコーナーを2区画確保できるように計画する。	5	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名		面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
こ じ や と ろ む	事務室	40	・執務スペース	職員の執務スペース、ロッカー設置スペースを確保する。 来客の対応ができるスペースを確保する。 利用者の出入り及び利用状況が確認できる位置に計画する。	4
	キッチン		・おやつ準備、 後片付け	キッチンセットを設置する。 冷蔵庫、食器乾燥機、食器保管ロッカー、食器戸棚などの設置 スペースを確保する。	
	保育室他	120	・障がい児保育	言葉や発達の遅れなど、心身に障害のある1歳6ヶ月以上の児 童を受け入れ保育及び生活指導を行うので安心安全なス ペースとする。 壁面及び床面には点検口を設けない。 夏場の水遊び用テラス及び水道蛇口を設置する。(保育室との 連結を考慮する) 保育室内に手洗い場を設置する。 靴箱、かばん掛け、個人用ロッカー、遊具整理収納ロッカーを 設置。遊具整理収納ロッカーは個人用ロッカーの上に設置す る。 靴箱を配置する入口には踏み込みを作る。 壁面に棚を設置する。 D500×W1,000～1,200 天井部分にぶら下がり遊具を掛けるバ ーをつける(2本・平行・間隔200) 壁面は、掲示可能な素材とする。	
			・水回り	保育機能部門とトイレ等の衛生部門は間仕切壁で区画する。ま た、その場合、保育室からトイレ内部が見えるように1箇所覗き 窓を設置し、出入口は引戸とする。 トイレは、大きさ使いやすなどに配慮し、入所児(2～3歳)用とし て、女児用2(洋式)、男児用1を設置し、手洗い場を適宜設け る。 洗濯機パン、汚洗い槽、個人用タオル掛けを設置する。 トイレ、手洗い場の水道の蛇口弁は、自動にしない。	
多目的 ミラー観察室	40		壁面は、マジックミラー仕様にして、保育室の様子を見ることが できるようにする。マジックミラー壁の上部は天井までの高さを 必要としない。 マジックミラーは、子どもの目線にかからない高さに配置し、ロ ールスクリーンを設置する。 出入口ドアは、子どもが容易に開けられないようにすること。 弟妹等同伴出席時の授乳やおむつ交換、その他、保育室でで きないことがある時に使用するためのスペースを計画する。 遊具や保育材料を収納する倉庫としても使用するの、棚やキャ ビネット等の設置も計画する。		
(必要諸室)計		1,440			

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備									
	OAフロア	カーテンブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (提案による)	その他	
				TELEアウトレット	FAXアウトレット								方式種	回数(回/h)					
こどもルーム	事務室										A	1	-					キッチン	
	ルーム ~										A	1	-						
	自由広場										A	1	-						
	図書室										A	1	-						
	ランチ室										A	1	-					手洗い	
	ルーム内 トイレ(男女)												3	15	手洗い				手洗いは大人用・ 児童用が必要
	授乳室										A	1	-					手洗い	
	おむつ交 換室										A	1	-					手洗い	
子育て支援サ ロン										A	1	-							
一時預かり室										A	1	-						手洗い	手洗いは児童用
ファミリーサポ ートセンター 事務室										A	1	-							
こどもルーム	事務室										A	1	-					流し	
	保育室										A	1	-					手洗い	手洗いは大人用・ 児童用
	多目的ミ ラー観察 室										A	1	-					手洗い	

6- (仮称)母子福祉センター

< 共通 >

性能水準
母子福祉センターの各室は必ず同一階に配置する。 保育室と技能習得室は隣接させる。

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (m ²)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
事務コーナー	20	・執務	母子相談員2名、結婚相談員2名の事務が執れるスペースとする。 母子等が気軽に相談に来られるように、壁や扉を設けないオープンスペースとし、受付を兼ねたローカウンターやローキャビネット等で執務スペースを囲むように仕切り、事務コーナーとする。	4
技能習得室	120	・資格の取得や就職に役立つ講座を実施(定期)	状況に応じ2室に分けられるようにする。 ノートパソコンによる講義も予定しているが、固定式 OA テーブルは設置しない。可動式の長机を使用したフレキシブルな室の使い方を想定して、電源などの設置を計画する。 音響設備を設置する。	
保育室	60	・保護者が技能習得や研修の間、乳幼児を保育する	遊具や書棚の配置スペースを確保する。 突起物や鋭角な部分を作らない。 床は、木質系フローリングとする。(弾力性を考慮する) 畳コーナーを設置する。 壁は、木製の腰壁(FLよりH=1.5m)を設置する 天井照明は、目に柔らかいものとする。	
結婚相談室	18	・結婚相談	9m ² ×2室 プライバシーの守れる位置に配置する。 室外に会話が漏れないように、防音仕様とする。 室名板は、番号のみを振る等、結婚相談室の名称を付さない。 相談のための机、椅子のほか、紹介のための履歴等を保管するための書棚(錠付き)の設置スペースを確保する。 内装は、柔らかい配色を心がけ、落ち着きのあるイメージとする。	
(必要諸室)計	218			

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備								
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (提案による)	その他
				TELEアウトレット	FAXアウトレット								方式種 (a)	回数 (b)				
事務コーナー											A		1	-				
技能習得室									無線LAN		A		1	-				
保育室											A		1	-	手洗い			
結婚相談室											A		1	-				

6- (仮称)健康増進センター

< 共通 >

性能水準
<p>高齢者及び障がい者なども利用するため、ユニバーサルデザインについて、特に配慮すること。</p> <p>調理実習室と研修室は、同一階とする。</p> <p>調理実習室は、調理室、下足室、調理準備室の三要素で構成し、下足室を通り抜けて、廊下と調理室を行き来できるような動線計画をする。</p> <p>調理室は、準備室をはさんで研修室と隣接させる。</p> <p>調理室と準備室、研修室は、それぞれコネクティングドアで結び、行き来ができるようにする。</p> <p>健康増進室と事務室は、隣接させる。</p> <p>シャワー・更衣室は、健康増進室に近接させる。</p> <p>事務室、健康増進室及びシャワー・更衣室は、他諸室と同一階が望ましいが、別の階になる場合には、研修室等との往来容易性に考慮した計画とする。</p> <p>廊下の壁面は、掲示スペースとして利用できる仕様とする。</p>

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用人数
事務室	20	<ul style="list-style-type: none"> 事務管理 受付窓口 	<p>3名分の事務スペースを確保する。</p> <p>カウンターは(職員2名配置予定)、着席して受付業務の出来る低いもので、車椅子や親子連れの対応も出来るものとする。</p> <p>事務室内は、パーティションで適宜仕切り、OA 機器から外部に情報が漏れることがないように配慮する。</p> <p>壁面に天井高の書類保管庫を設置できるよう計画する。</p>	3名程度
調理実習室	調理室 210	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育における教育実習 	<p>直接廊下に面した出入口には、車椅子対応の扉を設置する。</p> <p>隣接する研修室とのコネクティングドアは、透明ガラス入引き戸とする。施錠は調理室側とする。</p> <p>車椅子での実習に不都合のないように通路や調理台周りの間隔は、十分に配慮する。</p> <p>調理室に入ってすぐに荷物を置けるよう棚等を設ける。</p> <p>窓側にカウンターを設置し、シンクの設置及びガス配管を行う。</p> <p>電化製品を設置できるようなスペースと電源を確保する。(「参考資料1大分市購入予定備品一覧」参照)</p> <p>自動手洗い機(肘まで洗うことのできる大きさの手洗い)を、少なくとも3箇所、隣接して手指の温風乾燥機3台を設置し、壁には鏡を設置する。</p> <p>雑巾等を洗うシンクを確保する。</p> <p>調理実習台7台以上を設置し(内2台程度を障がい者対応とする)、換気ダクト等を配備する。</p> <p>調理実習台は、製作家具とし、障がい者対応分は師範台の前に設置し、上下昇降式とする。</p> <p>オープン付コンロ台を6台設置する。中央部分に2台ずつ、3箇</p>	50

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用人数
			<p>所設置する。(内2台は昇降式)</p> <p>造り付の食器棚を設置する。</p> <p>実習生から師範の手元が見られるように師範台の上の天井に斜めに鏡を設置する。</p> <p>ホワイトボード、ピクチャーレールを設置する。</p> <p>空調、給湯温度、照明のスイッチを入口付近に設置する。</p> <p>窓には網戸を設置する。</p> <p>床材は、濡れても滑りにくく、かつ掃除しやすいものとする。</p> <p>冷蔵庫の電源は、停電時の対応ができるようにする。</p>	
調理準備室		<ul style="list-style-type: none"> 調理器具・食品の保管 掃除用具の保管 実習の準備等 	<p>調理室の一部を区切って、準備室を設ける。</p> <p>実習室と研修室の間に設けることとするが、両室間の動線の妨げにならないように計画する。</p> <p>廊下に直接通じるドアを設ける必要はないが、円滑に食材が搬入されるように、調理室の出入口に近接して配置する。</p> <p>壁面に造り付の調理器具戸棚・食品庫・収納ロッカーを設置する。</p> <p>シンク付作業カウンターを設置する。</p>	
下足室		<ul style="list-style-type: none"> 利用者のくつの履き替え 	<p>調理室の一部を区切って、下足室を設置する。</p> <p>直接廊下に面した吊引戸を設置する。</p> <p>下足室を通り抜けて、円滑に廊下と調理室を行き来できるような動線計画とする。(廊下から下足室に入室し、くつをスリッパに履き替え調理室に入る)</p> <p>鏡等の設置スペースを確保する。</p> <p>下足入れとは別に、収納庫を設置する。</p>	
研修室	70	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育 各種会議 研修・総会等 健康増進室の教室として 	<p>廊下側の入口は2箇所とする。</p> <p>ホワイトボードを設置する。</p> <p>資料等の造り付の収納戸棚を設置する。</p> <p>長机 20 台とスタッキングチェア 60 脚を常時設置できるように計画する。</p> <p>格納式電動スクリーンを設置する。</p> <p>ピクチャーレールを設置する。</p>	60
健康増進室	380	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりのための各種運動 運動機器を使ったトレーニング 自由利用(利用料を払う) 生活習慣改善教室利用(募集形式、利用料徴収) 	<p>窓から採光を十分に確保できるようにし、明るい室とする。</p> <p>廊下側の壁は、中のスペースが良く見えるようにガラス壁にするなどして、明るくオープンな雰囲気とする。</p> <p>運動による騒音や振動が、上下階や他の室の性能を妨げないように計画する。</p> <p>室の一部を仕切り、30 名程度でエアロビクスなどの運動教室ができる空間を計画する。間仕切の仕様(固定または可動にするか等)については、健康増進室全体の有効利用、使い勝手、快適性などを考慮し提案すること。</p> <p>長机 10 個、椅子 30 個、健康機器が常時入れられる収納庫、体力測定器具などを収納する倉庫を設置する。</p>	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
			<p>増進室及び倉庫や収納庫の出入口は吊引き戸とし、十分な巾、高さを確保する。</p> <p>入口にカウンターを設置し、パソコン・モニター・プリンターを置き、体力測定の結果を印刷できるようにする。</p> <p>壁面に天井高の書類保管庫を設置する。</p> <p>壁面にテレビ(50型)を収納できるように計画する。利用者の活動の妨げにならないよう、またボール等が当たる可能性も考慮に入れて計画すること。</p> <p>壁面に鏡(縦2,000mm×横3,300mm)を設置する。</p> <p>壁面の一部にトレーニング用ゴムが使用できるポール付造り付木製ベンチを設置する。</p> <p>壁面の一部にトレーニングゴムが使用できる2段式手摺を設置する。</p> <p>ビクチャーレールを設置する。</p> <p>トレーニング機器(自転車エルゴメーター(エルゴサイザー5台)・リハビリウォーカー(低速トレッドミル5台))を常時設置するスペースを確保する。</p> <p>体力測定器具(10m歩行測定器・長座体前屈測定器・開閉眼片足立測定器・全身反応測定器・握力・上体おこし等)設置スペースを確保する。</p> <p>中央には運動用マットを敷き、ストレッチ体操が行えるような配置とする。</p> <p>床は、体育床とし、フローリング張りとする。壁面も木製を基本としポスター、パネルなどの掲示にも配慮する。</p> <p>音響設備を設置する。</p>	
男子シャワー・更衣室 女子シャワー・更衣室	200	・健康増進室及び 体育施設利用者の 更衣・シャワー 等	<p>男女別に配置する。</p> <p>すべてバリアフリーとし、車椅子使用に配慮した計画とする。</p> <p>ドア開閉の際、外部から室内が容易に見えないよう配慮する。</p> <p>シャワーブースを設置する。(男女各10個)</p> <p>車椅子仕様のシャワーブースを男女各2台設置する。</p> <p>・手摺、腰掛台、低い位置のシャワーフック等を備え、車椅子の回転に必要なスペースを有すること。</p> <p>・腰掛け台は車椅子と同じ高さとする。</p> <p>・車椅子に水がかからないよう防水カーテンを設置する。</p> <p>洗面カウンターは、10人程度が一度に使用できるようにする。</p> <p>車椅子でも利用可能な洗面台を男女各一つずつ設置する。</p> <p>手摺と非常呼び出しボタンを適宜設置する。</p> <p>コインリターン専用ロッカーを設置する。(男女各30名分程度)</p> <p>室内にオープン式靴箱を設置する。</p> <p>床は、濡れても滑りにくい素材とする。</p>	
(必要諸室)計	880			

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備								
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温度/湿度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (提案による)	その他
				TELEアウトレット	FAXアウトレット								方式種	回数(回/h)				
事務室										A		1	-					
調理実習室	実習室	B							左記照度条件以下 外に調理台手元照 明を設ける	A		1	燃焼空気 人員	調理	調理	調理		空調個別調整
	準備室	B								A		1	-	調理	調理			
	下足室									A		3	5					
研修室		B								A		1	-					
健康増進室		B		2					無線 LAN 調光設備 時刻表示は 2 箇所	A		1	-					空調個別調整
シャワー室 (男女)												3	-			シャワー		
更衣室 (男女)		B								A		1 ・ 3	5	洗面台	洗面台			

6- (仮称)人権啓発センター

< 共通 >

性能水準	
パネル展示コーナーは、来館者の往来の多い、目に留まりやすい場所に設置する。	
パネル展示コーナーと事務・相談室等の室とは、近接して配置する。	

A) 必要諸室及び性能水準

室名		面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
事務 相談室	事務スペース	37	・執務	執務スペースをカウンター等で仕切る。 机、椅子を4組程度設置するスペースを確保する。 コピー機を設置するスペースを確保する。	4
	相談室		・相談業務	応対スペース(相談員1名+市民2名程度)×2室 室にはそれぞれ出入口を設け、プライバシーの保護に配慮する。	3 /室
資料収蔵室		9	・人権啓発物品の 保管	フォトコンテスト入選作品、啓発ポスター、啓発冊子、啓発グッズを一部棚、一部キャビネットで収納することを前提に使いやすいように計画する。	
入口ホール・受付カウンター		18	・人権相談の受付、 人権図書・ビデオ の貸出	受付カウンター下部に書類を保管できるスペースを確保する。 施設の案内板、「行事等お知らせ」掲示板を設置するスペースを確保する。	
パネル展示コーナー		33	・人権フォトコンテ スト入選作品等の展 示	動線に配慮した場所に配置する。 四切りサイズ写真(26作品)を展示できるスペースを確保する。 展示パネル(5m程度)を3枚設置できるスペースを確保する。 壁はポスター、パネル等が貼れる仕様とし、人権啓発ポスター等展示パネルを設置するスペースを確保する。	
研修室		25	・少人数での研修、 会議	中央にミーティングテーブルを配置し、研修できるスペースを確保する。 壁は、ポスター、パネル等が貼れる仕様とし、人権啓発ポスター等展示パネルを設置するスペースを確保する。	8~ 10
図書閲覧コーナー		20	・人権図書、人権啓 発冊子の閲覧ス ペース	人権図書、人権啓発ビデオ、人権啓発冊子等の書架(5メートル程度)を設置するスペースを確保する。 10人程度が図書等を閲覧できる机・椅子のスペースを確保する。	10
ビデオ・情報コーナー		8	・ビデオ視聴覚、イ ンターネット閲覧	1人用ブース(机・椅子・間仕切り)×4つを設置するスペースを確保する。 (PC2、TV2)を設置するスペースを確保する。	
(必要諸室)計		150			

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備									
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無	(有 提案による)	その他
				TELEアウトレット	FAXアウトレット								方式種)	回数(回/h)					
事務 相談室	事務 スペース			2							A		1	-					
	相談室			2							A		1	-					
資料収蔵室													1	-					
入口ホール・ 受付カウンター											A		1	-					
パネル展示コ ーナー									照度条件以外に作 品展示時における 可動式照明を設け る		A		1	-					
研修室											A		1	-					
図書閲覧コ ーナー											A		1	-					
ビデオ・情報 コーナー											A		1	-					

6- (仮称)社会福祉協議会等団体事務室

< 共通 >

性能水準
ボランティアセンター各室には、それぞれ廊下から直接入退室できる出入口を設けるとともに、各室をコネクティングドアで結ぶこと。 ボランティアセンターの扉は、すべてスライディングドアとし、廊下側出入口戸は錠付とする。 ボランティアセンターに面した廊下には、ボランティア情報の掲示板や状差し等を設置するスペースを計画する。

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (m ²)	室の使い方等	性能水準	使用人数	
社会福祉協議会等 団体事務室	会長室	30	・執務、応接、会議	事務スペース、応接セット、会議テーブル(5～6人)を一体的に配置できるスペースを確保する。	1
	役員室	20	・執務、応接	事務スペース、応接セットを配置するスペースを確保する。	1
	応接室	20	・来客対応		
	職員事務室	260	・執務 ・2課で1室を使用	執務室の廊下側出入口に近い場所に、受付兼執務スペースを仕切るカウンターを設置する。1課1台、計2箇所設置する。 カウンターの一部をローカウンターとする。ローカウンター部分は、3等分し、プライバシーに配慮した仕切りを設け、着席にて対応ができるようにする。 カウンター前は、受付業務と来館者の動線を考慮して、余裕を持ったスペースを確保する。 机を島型に4列程度並べられるスペースを確保する。(7席で1グループ、4つのグループになることを想定している) 各課、各グループとの間には、適宜書類保管庫等(高さ90cm程度)を設置するスペースを確保する。 ローパーティション等で仕切られた少人数会議スペースを(5名程度)×2箇所設置する。 壁面に天井高の書類保管庫を設置するスペースを確保する。 給排水を伴わないお茶入れコーナーを設けること。食器の収納や電気ポットの設置ができるようにすること。	29
	印刷室			職員事務室内(6m ² 程度) 施錠できるようにする。	
サーバー室			職員事務室内(6m ² 程度) 施錠できるようにする。		
男子更衣室 女子更衣室	20	・職員更衣	社会福祉協議会事務室と福祉関係団体事務室の共有更衣室とする。両室からの動線に配慮した計画とする。 男女別の更衣室に区分し、各25人以上の更衣ロッカーの設置スペースと更衣スペースを確保する。		
書庫	130	・社協関係文書の保管庫	移動式書架の設置スペースを確保する。		

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (m ²)	室の使い方等	性能水準	使用 人数
福祉関係団体事務室	170	・大分市の複数の福祉関係団体の事務スペースとして使用(6～8の団体の入居を想定)	室内は壁等で区切らず、必要に応じパーティションで仕切れるように計画する。 団体事務室共用の6人程度のミーティングスペースを2カ所確保する。 給排水を伴わないお茶入れコーナーを設けること。食器の収納や電気ポットの設置ができるようにすること。 入口付近に各団体用のポスト(6～8個)を設置する。	
ボランティアセンター	事務室	・執務	事務室の廊下側出入口に近い場所に、受付兼執務スペースを仕切るカウンターを設置する。カウンターはローカウンターとし、着席にて応対ができるようにする。 カウンター前は、受付業務と来館者の動線を考慮して、余裕を持ったスペースを確保する。	5
	ボランティアルーム	・ボランティア用フリースペース	多目的でフレキシブルな室の使い方ができるように、なるべく整形でオープンなスペースが取れるように計画する。 製本作業に伴う機器類(コピー機その他、紙折り機、帳合い機、印刷機など)の設置や作業スペースを想定して計画する。	
	ボランティアルーム	・予約制の会議室 ・会議、講習会、ボランティアグループの例会などに利用		20
(必要諸室)計	750			

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備												
	O Aフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LAN/インターネット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温湿度	時間外空調	換気		給排水設備		給湯設備有無		ガス設備有無	() 有 提案による	その他	
				TELE/インターネット	FAX/インターネット								方式種	回数(回/h)	() 有	() 有	() 有	() 有				
社会福祉協議会事務室	会長室	B		1							A		1	-								
	役員室	B		1							A		1	-								
	応接室	B		1							A		1	-								
	職員事務室	B		19							A		1	-								
	印刷室	B									A		1	-								
	サーバー室	B									A		1	-								
男子更衣室 女子更衣室	B										A		1	-								
書庫																						
福祉関係団体事務室	B										A		1	-								
ボランティアセンター	事務室	B		2							A		1	-								
	ボランティアルーム	B									A		1	-								

6- 福祉共有施設

< 共通 >

性能水準
食堂・喫茶室、売店、保健室は全ての市民に開放されることを踏まえて計画する。 各室の扉は、スライド方式とする。 車椅子用倉庫は、トラックなどで搬出しやすいように駐車場に隣接させる。 床格納電源は、バリアフリー対応のものとする。

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用人数
福祉総合受付	10	・来館者の総合案内 (職員2名配置)	福祉総合受付カウンターは、車いす対応のローカウンターとする。 福祉総合受付のローカウンターと並ぶ位置に会議室の貸し出し用カウンターを設置する。 壁面には、(仮称)総合社会福祉保健センターの案内板を設置する。	2
福祉総合事務室	60	・施設管理・福祉総合案内 ・共有施設の貸し出し業務 (職員5名配置)	福祉総合受付のバックオフィスとして計画する。 職員7名分の机、椅子、キャビネットを配置する。 男女更衣室とロッカーを配置する。	7
大会議室	520	・各種の大会や講演会、各種団体の総会 ・防災対策本部補完機能 (災害時における付加機能については業務要求水準書第2-8.参照のこと)	幅7.2m、奥行き2.4m、高さ0.3m程度のステージの設置スペースを確保すること。 3人掛けの会議用テーブル100台、椅子300脚を設置することを基本として計画する。 遮音吸音に十分な配慮を行う。 音響設備を設置する。 照明設備を設置する。 大型ロール式電動スクリーンを設置する。 ステージには電動の緞帳を設置する。 液晶プロジェクターを天吊式として設置する。(テレビ映像とPCの投影が可能なものとする)	300
収納庫			3人掛け会議用テーブル100台、椅子300脚、ステージ等を収納する	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用人数
中会議室A・B	270	・各種の講演会、 研修会、各種団体(小規模)の総会	可動式防音間仕切りにより、会議室A(135㎡)、会議室B(135㎡)として分割使用できるものとする。 分割使用時の対応として、室の前後にホワイトボードを設置する。 A・B双方に音響設備、電動スクリーンを設置し、A・Bを1室で使用する場合に正面となる方に照明設備を設置する。	
収納庫	適宜		3人掛け会議テーブル40台、椅子120脚を常時収納できる収納庫を設置する。 収納庫の上部は、外部廊下側から出入りできる多目的収納庫とする。	
中会議室C・D・E	300	・会議、研修会、教室、講座	100㎡×3室 各室とも、3人掛け会議テーブル20台、椅子60脚を教室型に設置することを基本として計画する。 室前面にホワイトボードを設置する。 音響設備、電動スクリーンを設置する。	60 / 室
中会議室C・D・E 共有収納スペース	適宜		中会議室C・D・E近くに共有の収納スペースを確保する。 3人掛け会議テーブル20台、椅子60脚を収納する。 必ずしも室として計画する必要はないが、収納時見苦しくないように十分に配慮した計画とする。	
中会議室F(和室)	100	・会議、研修会、教室、講座	幅8m、奥3m、高さ0.5m程度のステージを設置する。 ステージ下は、座布団等の収納庫として活用する。 3人掛け座卓20台、座布団60枚を教室型に設置することを基本として計画する。 入口には土間及び下駄箱を設置する。 音響設備、照明設備、電動スクリーンを設置する。	60
収納庫	適宜		3人掛け座卓20台等を収納する。	
小会議室A・B・C・D・E	350	・会議、研修会、教室、講座	70㎡×5室 各室とも、3人掛け会議テーブル15台、椅子45脚を教室型に設置することを基本として計画する。 室前面にホワイトボードを設置する。 電動スクリーンを設置する。	45 / 室
小会議室F(和室)	70	・会議、研修会、教室、講座	3人掛け座卓14台、座布団42枚を教室型に設置することを基本として計画する。 室前面にホワイトボードを設置する。 電動スクリーンを設置する。 入口には土間及び下駄箱を設置する。	42
収納庫	適宜		3人掛け座卓14台、座布団42枚を収納する。	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名		面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	使用人数
小会議室 G・H		70	・会議、研修会、教室、講座	35㎡×2室 3人掛け会議テーブル8台、椅子24脚を教室型に設置することを基本として計画する。 会議室前面にホワイトボードを設置する。 電動スクリーンを設置する。	24 /各室
相談室		180	・各種相談	18㎡×10室 出入口は、共用廊下に面して、相談員用と相談者用に2箇所設置する。 出入口は、共用廊下に面して、相談員用と相談者用に2箇所設置する。 室内には相談員(職員等)3名、相談者3名が対面して座れる長方形テーブルを設置する。相談員エリアと相談者エリアを隔てるために、テーブルの短辺側の一方を出入口側の壁に固定する。 「使用中」のランプ表示をつける。スイッチは、室外部の廊下壁面、相談員用出入口付近に設置、(仮称)総合社会福祉保健センター各事務室において「使用中」ランプが点灯するものとする。 緊急用ボタンを設置し、緊急時には、相談員側から外部にサイレン等で知らせることができるようにする。 外部から相談者がいることが分かるようにするとともに、相談者のプライバシーが守れるように、すりガラス入りの窓等を設ける。 防音に留意する。	
保健室		30	・複合文化交流施設全体の利用者で体調を崩した人の応急施設	ベッド2台分用のメディカルカーテンを設置する。 洗面台、流し台を設置する。 緊急用ボタンを設置し、緊急時には、保健士から外部にサイレン等で知らせることができるようにする。 外部から相談者がいることが分かるようにするとともに、利用者のプライバシーが守れるように、すりガラス入りの窓等を設ける。	
食堂 喫茶室	食堂・喫茶スペース	200	・施設利用者に軽食と飲み物を提供	運営者設置予定の丸テーブル10台と椅子40脚が置けるよう計画する。 オープンスペースとして開放的な空間計画とする。	
	厨房		・障がい者等の就労訓練の場	障がい者の就労に留意した計画とする。 厨房機器一式を設置する。 冷蔵庫、冷凍庫、食器棚、ローカウンターを設置する。	
	更衣・休憩スペース		・従業員更衣、休憩	ロッカー5人分の設置スペースを確保する。	
売店		50	・障がい者等の就労訓練の場 ・障がい者施設で	障がい者の就労に留意した計画とする。 食堂、喫茶と一体となる配置計画とする。 ストックヤードを設置する。	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (m ²)	室の使い方等	性能水準	使用人数
		製作した商品の販売	運営者設置予定の陳列棚等が置けるスペースを確保する。	
車椅子倉庫	40	・社協保有車椅子を保管する ・団体貸出用	地下駐車場内に設置する。運搬車両を横付けし、車椅子の積み込みをしやすい場所に配置する。 車椅子倉庫内は、車椅子を2段に保管できるように棚(高さ95cm、奥行き1m)を設置する。	
倉庫		・設計上の空きスペースを活用する倉庫	センター内で400m ² 程度確保する。	
(必要諸室)計	2,250			

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備						
	OAフロア	カーテンブラインド	暗幕	構内交換 TELアウトレット FAXアウトレット	LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温湿度	時間外空調	換気 方式種 回数(回/h)	給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (提案による)	その他
福祉総合受付										A	1	-				
福祉総合事務室		B								A	1	-				
大会議室		B 電動	電動	2 (14災害時使用)					・無線LAN ・床格納電源 ・端子等収納庫を設置する(庁内LAN、電話端子) ・電気関係は非常用電源対応とする ・TEL、FAXは災害時優先電話	A	1	-				・空調個別調整
中会議室A・B		B							・床格納電源	A	1	-				
中会議室C		B							・無線LAN ・床格納電源	A	1	-				
中会議室D・E		B							・床格納電源	A	1	-				

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備								
	Oフロア	カーテンブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温湿度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (提案による)	その他
				TELEPHONE	FAX								方式種	回数(回/h)				
中会議室 F(和室)		B								A		1	-					
小会議室 A・B・C・D・E		B							・床格納電源	A		1	-					
小会議室 F(和室)		B								A		1	-					
小会議室 G・H		B							・無線LAN	A		1	-					
相談室		B																
保健室		B								A		1	-		洗面流し			
食堂・喫茶室	食堂・喫茶スペース	B								A		1	-					
	厨房									B		1			厨房		厨房	
	更衣・休憩スペース									A		1	-	洗面				
売店		B								A		1	-				洗面は食堂・喫茶と共用	
車椅子倉庫												3	5					
倉庫												3	5					

7. 保育所

< 共通 >

性能水準
<p>乳児室と調乳室は、隣接させる。</p> <p>乳児室と多目的沐浴室・トイレは、隣接させる。</p> <p>すべての諸室が1階に配置されることが望ましいが、2層になる場合には、配膳用リフト、避難スロープは必須とする。</p> <p>突起物や鋭角な部分を作らないように配慮をする。</p> <p>扉は、子どもの利用に配慮したものとし、出入口扉はスライドドアとする。</p> <p>照明は、目に柔らかいものとする。</p>

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	設置階の指定	使用人数
事務室	45	・事務管理	園入口及び園庭が見渡せる計画とする。 給湯コーナーを設置する。	1	
		・医務保健コーナー	アコーディオンカーテン等で間仕切り、収納式ベッドを設置する。 間仕切したエリアにも、空調が利くように計画する。 手洗場を設置する。	1	
職員休憩室・更衣室・シャワー室	26		休憩室は、事務室に隣接し、更衣室・シャワー室を付帯する。 更衣室は、男女別とする。 シャワー室は、男女兼用とする。	1	150程度
5歳児室	71		小さい子の保育室を事務室、調理室の近く配置する。 手洗場を設置する。	1	
4歳児室	60		自然光を取り入れ、採光に留意した明るい室とする。 内装材は、子どもの安全性に留意し、適度な弾力性と硬さを備えたものとし、床は防滑性にも配慮する。	1	
3歳児室	50		子どもたちの活動により発生する音や振動が、上下階や隣接する室の性能を妨げないように計画する。	1	
2歳児室	50		壁面及び床面には、点検口を設けない。 壁面を有効利用し、できるだけ多くの収納スペースを確保する。	1~2	
1歳児室	52		保育室(乳児~5歳)については、児童用ロッカーを(1人あたりのサイズ W480×D425×470)適宜設置する。	1~2	
乳児室	40			1~2	
一時保育室	40			1~2	
地域交流室	50	・地域の人を招いて、交流する場	オープンスペースとする。 自然光を取り入れ、採光に留意した明るい室とする。 内装材は、子どもの安全性に留意し、適度な弾力性と硬さを備えたものとし、床は防滑性にも配慮する。 子どもたちの活動により発生する音や振動が、上下階や隣接する室の性能を妨げないように計画する。 壁面及び床面には、点検口を設けない。	1~2	

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	設置階 の指定	使用 人数
遊戯室	110		<p>ステージは、自動で格納できるものとする。</p> <p>出窓的に、手洗場を設置する。</p> <p>収納庫を設置する。</p> <p>自然光を取り入れ、採光に留意した明るい室とする。</p> <p>内装材は、子どもの安全性に留意し、適度な弾力性と硬さを備えたものとし、床は防滑性にも配慮する。</p> <p>子どもたちの活動により発生する音や振動が、上下階や隣接する室の性能を妨げないように計画する。</p> <p>音響設備を設置する。</p> <p>壁面及び床面には、点検口を設けない。</p>	1	
多目的沐浴室・トイレ	24	・乳児専用	沐浴槽(温水シャワー付)×2槽、汚物処理槽、掃除槽、便器、手洗場等を設置する。	1~2	
調乳室	6	・乳児専用	流し台、給湯設備などを設置する。	1~2	
調理室	40		<p>食材などの搬入経路に留意した配置計画を行うこと。</p> <p>入口などガラス張りにし、子どもから見える調理室とする。</p> <p>厨房設備一式を設置する。</p> <p>手洗い場を設置(センサー式)する。</p> <p>手指の温風乾燥機を設置する。</p> <p>出入口、窓に網戸を設置する。</p>	1	
下処理室	6		<p>調理室と隣接し、円滑な作業動線とともに、衛生上の区分けに十分留意して計画する。</p> <p>一層シンク、作業台を設置する。</p> <p>手洗い場を設置(センサー式)する。</p> <p>手指の温風乾燥機を設置する。</p>	1	
食品庫	6		<p>調理室に隣接して配置する。</p> <p>奥行き 500 mm程度の収納棚を設置する。</p>	1	
調理員用トイレ	4		手指の温風乾燥機を設置する。	1	
教材倉庫	14				
押入等	20		各保育室(7ヶ所)に設置する。		
リネン室	5		洗濯機2台、乾燥機2台が設置できるスペースを確保する。	1	
トイレ	園児用	51	・1~5歳児用	<p>保育室から出入りできること。</p> <p>汚物処理槽、掃除槽、シャワーパン、手洗い場、大人用便器を設置する。</p>	
				男女別に設置する。	
外部倉庫		・園庭用倉庫			

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	設置階 の指定	使用 人数
テラス		・保護者の送迎用及び園庭への出入り	奥行き3m程度 庇は、光を通すように計画する。 手洗場、足洗い場、掃除槽を0・1歳児用、2・3歳児用、4・5歳児用として計3セット設置すること。3歳児未満の足洗い場いずれか1箇所に温水シャワーを設置する。 各保育室用の下足箱を設置する。 近隣への騒音に配慮し、スピーカは低音量タイプのを適所に分散配置する。		
(必要諸室)計	770				

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備							機械設備									
	OAFロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換			LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ端子	その他	室内温度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無 (提案による)	その他	
				TELEアウトレット	PHS利用範囲	FAXアウトレット								方式種	回数(回/h)					
事務室		B										A		1	-				流し手洗い	
職員休憩室・更衣室・シャワー室		C										A		1	-				シャワー	
5歳児室		C										A		1	-				手洗い	
4歳児室		C										A		1	-				手洗い	
3歳児室		C										A		1	-				手洗い	
2歳児室		C										A		1	-				手洗い	
1歳児室		C										A		1	-				手洗い	
乳児室		C										A		1	-				手洗い	
一時保育室		C										A		1	-				手洗い	
地域交流室		C										A		1	-				手洗い	
遊戯室		C										A		1	-				手洗い	
収納庫		C												3	5					
多目的沐浴室・トイレ		C										A		3	10				シャワー	
調乳室		C										A		1	-				流し	
調理室												A		1	-				厨房	空調個別設定

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名	建築			電気設備							機械設備									
	O.A.ロア	カーテンブラインド	暗幕	構内交換			LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ端子	その他	室内温湿度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)		ガス設備有無 (提案による)	その他
				TELEアウトレット	PHS利用範囲	FAXアウトレット								方式種	回数(回/h)		流し	手洗い		
下処理室											A		1	-	流し	手洗い				
食品庫											A		3	5						
教材倉庫													3	5						
押入等													3	5						
トイレ	園児用												3	15	手洗い					
	来客用及び職員用												3	15	手洗い					
	調理員用												3	15	手洗い					
玄関・廊下											A		1	-						
テラス																	シャワー			手洗い場、足洗い場、掃除槽を保育室2室毎に1箇所設置 うち1箇所にはシャワーを設置
園庭																				水撒き、プール

8.全体共有施設

<共通>

性能水準
<p>道路に面した出入口の1箇所には、外部ドアを出た位置に庇などを施し、雨天時の車の乗降等に配慮した計画とする。</p> <p>国旗等の掲揚ポールを3本設置する。</p> <p>防災倉庫の設置場所は、搬入、搬出の利便性を考慮する。</p> <p>施設内の一般放送設備は、BGM放送も可能とする。また、行政フロアのみには放送ができるシステムをとりこむ。</p> <p>カウンター、ソファなどの什器・備品を空間の性質を考慮の上、適宜配置すること。また施設の顔となるエントランスホールや総合案内所においては、デザイン性においても十分配慮する。</p> <p>センター内は、禁煙とするが、1階の屋外部分で喫煙可能なスペースを確保する。喫煙時の風雨に配慮するとともに、施設利用者や通行人にとっても見苦しくないように計画する。</p>

A) 必要諸室及び性能水準

室名	面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	設置階 の指定	使用 人数
総合エントランス ホール		・来館者用待合フ ースペース	<p>ソファ等を適所に設置し、利用者がくつろげ、ゆとりが持てる空間とする。</p> <p>エントランスは、車椅子が十分に行き来できる幅の自動ドアとし、風除室を設ける。</p> <p>エントランス横に、貸し出し用の車椅子5台、ベビーカー5台を置くスペースを確保する。</p> <p>視覚障がい者のための点字ブロックを設置する。</p> <p>各種案内パンフレットコーナーを設ける。</p> <p>車椅子対応の低い位置に公衆電話を1台設置するコーナーを設ける。</p> <p>ポスター等の掲示場所を確保する。</p>		
総合案内所			総合案内の受付カウンターは、車椅子対応のローカウンターとする。		
防災センター	100		全館監視用モニターテレビとその設備を設置する。	1	
SPC 事務室	50			1	
清掃員控室					
利用者 職員共有 トイレ			<p>各階に配置し、十分なスペースを確保する。</p> <p>洋式の場合はウォシュレット機能を有すること。</p> <p>多目的トイレは、オムツ替えシート、ベビーキープ、荷物置き等を設置し、車椅子対応とする。</p> <p>多目的トイレは、緊急呼び出し装置、音声案内、自動照明等を設置する。</p> <p>オストメイト対応トイレを各フロア1箇所設置する。</p> <p>ドライタイプを原則とし、清掃しやすいものとする。</p> <p>節水対策を行う。(擬音装置・BGM等)</p> <p>子どもも利用できる洗面所を設置する。</p>		

別紙 9 必要諸室及び性能水準

室名		面積 (㎡)	室の使い方等	性能水準	設置階 の指定	使用 人数
職員専用	給湯室			諸室機能並びに施設配置を考慮し、流し台、給湯設備、簡易な戸棚等を適宜設置する。		
	廊下・階段			<p>多人数の使用に配慮し、安全かつ機能的で使いやすく、幅員についても余裕のあるものとする。</p> <p>分かりやすい位置に配置し、避難動線に配慮する。</p> <p>大人用(高齢者含む)、子ども用の手摺の形態を考慮し、適切に設置する。</p> <p>廊下は車椅子でゆったりとすれ違える幅を確保する。</p> <p>点字ブロックを設置し、必要に応じて音声誘導システムを導入する。</p>		
全体共用	倉庫			各施設の配置計画等を勘案しながら、適宜確保する。		
	エレベーター		<ul style="list-style-type: none"> ・来館者用 ・業務用 	<p>エレベーターのかごサイズ及び設置台数については交通計算に基づき、車椅子による団体利用にも配慮した計画とする。</p> <p>扉の開閉は、高齢者、車椅子利用者等の障がい者に配慮したものにする。</p> <p>業務用エレベーターを別に確保する。</p>		
	防災倉庫	150	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材、食糧等の備蓄 	<p>出入口は、荷物の搬入、搬出等を考慮した扉を設置する。</p> <p>飲料水などの備蓄のために、十分な強度を備えた棚を壁面に固定するなどして、災害時にも支障ないように設置する。</p> <p>水害危険区域内であるため、浸水対策を考慮する。</p> <p>搬入、搬出用設備を設置する。</p> <p>E V、階段等出入口の近くに配置する。</p>	地下1	
	設備機械 関係諸室			本施設の規模・機能に応じ、必要な設備機械等のスペースを確保する。		

B) 設備等の性能水準

室名	建築			電気設備						機械設備									
	OAフロア	カーテン/ブラインド	暗幕	構内交換		LANアウトレット	時刻表示	拡声	テレビ	その他	室内温度	時間外空調	換気		給排水設備 (有)	給湯設備有無 (有)	ガス設備有無	(有 提案による)	その他
				TELEアウトレット	FAXアウトレット								方式種	回数(回/h)					
総合エントランスホール									・音声誘導システム ・無線LAN	A		1	-						
総合案内所									・案内情報板	A		1	-						
防災センター										A		1	-						
SPC事務室										A		1	-						
トイレ												3	15						
給湯室												3	5		流し				
廊下・階段										A		1	-						
倉庫												3	5						
エレベーター																			
防災倉庫									・電気関係は非常 用電源対応とする			3	5						
設備機械 関係諸室												3	5						